

やっと始めたアルバム整理 ～その中から～

片山 晴史

私の収集歴は長いのですが、その収集品には貴品や珍品と言えるものは含まれていません。また、多湿の自宅で多くの未使用品を変色させたり、裏付きさせたりした反省から使用済派に転向してしまいました。私の収集テーマを、力を入れている順に紹介すると①鉄道、②昆虫、③動物（鳥・魚を含む）、④普通切手となります。収集のコダワリは、デザイン重視で基本的に目打ち、透かし、紙質には踏み込まないことです。昨年退職後からこれまでストックするだけになっていた切手類を、アルバムに整理することをスタートしました。今回は、アルバムに整理できたものの中からそれぞれのテーマの代表をご紹介します。

【鉄道】

ドイツ帝国発行の鉄道100年記念4種と実通カバー（図1）

ドイツ帝国時代の格調のある凹版印刷は基本的に好きなのですが、その中でも鉄道100年記念は、25ペニヒのディーゼル列車の切手が小学2年生ぐらいに、最初に入手した鉄道切手でもあり、思い入れのあるものです。社会人になって全種を入手し、後日ヤフーオークションで実通カバーを入手したので、リーフにまとめることができました。

まだ整理できているのは少ないのですが、基本的には各国の鉄道100年およびそれ以降の周年記念もの。UPUの周年記念もの、自国の鉄道の歴史シリーズなどを収集のターゲットとし、自国とは関係のない「世界の鉄道」的なシリーズ等には全く興味がありません。ベルギー1949年発行鉄道小包用切手は歴史的蒸気機関車シリーズで大変気に入っており、完集まであと1枚です。ご協力をお願いします。長期間郵趣協会の自動配布を利用していたので最近の未使用切手はほぼ所有していると思うのですが、使用済が欲しい今日この頃です。今後は一応未使用でリーフを作成し、徐々に使用済へ、差し替えていこうと考えています。

【昆虫】

チリ発行の「チリ博物誌」発刊100年記念連刷シート中の昆虫図案（図2）

3額面で刷色を変え、各25種連刷で発行された計75種の内3図案計9種に昆虫が描かれています。完全シートは25種連刷を4面おさめた100枚シートとなります。本当は使用済で揃えたいのですが、まだ見たことがなく、一応未使用で我慢中です。

純昆虫1番切手は1930年レバノン発行のカイコの切手ですが、これが2番目です。

昆虫切手についてのこだわりは「純正」です。具体的に言うと描かれている昆虫が発行国周辺で生息しているもの。その国に生息していなくても発行意図と描かれている昆虫に関係性があること。例えば我が国発行の「日本ブラジル交流年」のモルフォ蝶はギリセーフです。昆虫の中でも蝶に力を入れており、モザンビークや中国発行の全20種のロングセットやスイスの1950～57年に渡って発行された児童福祉切手の蝶を主体とした昆虫のシリーズなどもリーフにまとめることができました。

中国の20種は注文消しなのが残念です。実通消しはまだ3種しか所有していません。お手元にお持ちの重品があれば、ご協力をお願いします。

【動物（鳥・魚を含む）】

ポルトガル領アンゴラ1953年発行の動物シリーズ20種（図3）

アンゴラ国内に生息する動物を描いたシリーズ。実通消は貼込帳などで見つけることができますが、低額面の方は未使用のセットが多量に出回っていたため、使用済の入手が結構困難です。現状は未使用が3種、未入手が3種となっています。

動物切手も昆虫切手と同様、自国周辺で生息していることと図案の動物が発行意図とマッチしていることを基本ルールとしています。動物切手は必然的にアフリカ各国発行のものが多いのですが、注文消しが非常に多く残念です。リーフに大きな余白を作るのはいやなので、関連写真や解説の書き込みで、バランスを取るようになっています。

今、力を入れているのはモザンビーク1951年発行全24種の魚シリーズロングセットですが、まだ9種もブランクです。これもご協力をお願いします。

【普通切手】

イタリア1961年発行システイーナ礼拝堂天井画シリーズ（図4）

ミケランジェロ作のシステイーナ礼拝堂天井画から人物の顔部分とミケランジェロの自画像で構成された19種のセット。150リラ以上の4種のみ凹版印刷で、さらに500、1000リラの2種は大型になっています。全種揃ってからは、良消への向上をめざしていますが、最小額面の1リラはまだ未使用のものです。

普通切手のシリーズは高額面の切手がサイズや印刷方式が異なるなどのランク付けがあるものが好きです。デザインが同じで色違いのシリーズなどは、あまり好きではありません。気に入っているのはオーストリアの全37種にもなる民俗衣装の超ロングセット。郵趣会へ出席するようになったことで完集することができました。このシリーズは本格的に収集している人にとってはグラフィア線数、紙質、定常変種などで複雑に分類できるそうですが、私は全額面完集で満足しています。普通切手で今、力を入れているのは、アメリカ1981～91発行のコイル切手のみの輸送機関シリーズです。額面の単位表記の有無や多くのタイプのプリキャンセルの存在などの楽しさがあります。また52枚毎の印面下部に版番号入りが出現するはずですが、今だ1種にも出会えておりません。

余談ですが、アメリカ使用済切手で苦勞するのは、良消しが非常に少ないことです。

【最後に】

まだまだ未熟ですが、私はパソコンでフリーのドローイングソフトを使用してリーフを作成しています。自分のオリジナルスタイルとして発行国の国旗をネットから取って左肩に入れ、朱色の枠取りを行い、切手の背景にはグレイで縁取りしています。カバーはフィラートコーナーでは、かさばるので市販のOPP封筒をカットしてラップし、裏面を細くカットした両面テープでリーフへ2箇所止めしています。

今回未集で穴あき状態のものも多数、お披露目させてもらいました。このことが、いい結果になりますよう、切に希望しています。



Nazi Germany

1935.7.10

ドイツ鉄道100年記念

ドイツ最初の鉄道は1835年12月7日に当時のババリア王国内6km区間でルードウィヒ鉄道として開通しており、1号機関車は6pf切手にも描かれている「アドラー号」。開業100周年を記念して、ナチスドイツ政権下の1935年に、4種の切手が発行されている。 額面表示数字 1=1pf (ペニヒ)



6pf
1号機関車アドラー号
(2-2-2形) 200人の乗客
を乗せた開業式風景。
英国スチブソン社製。



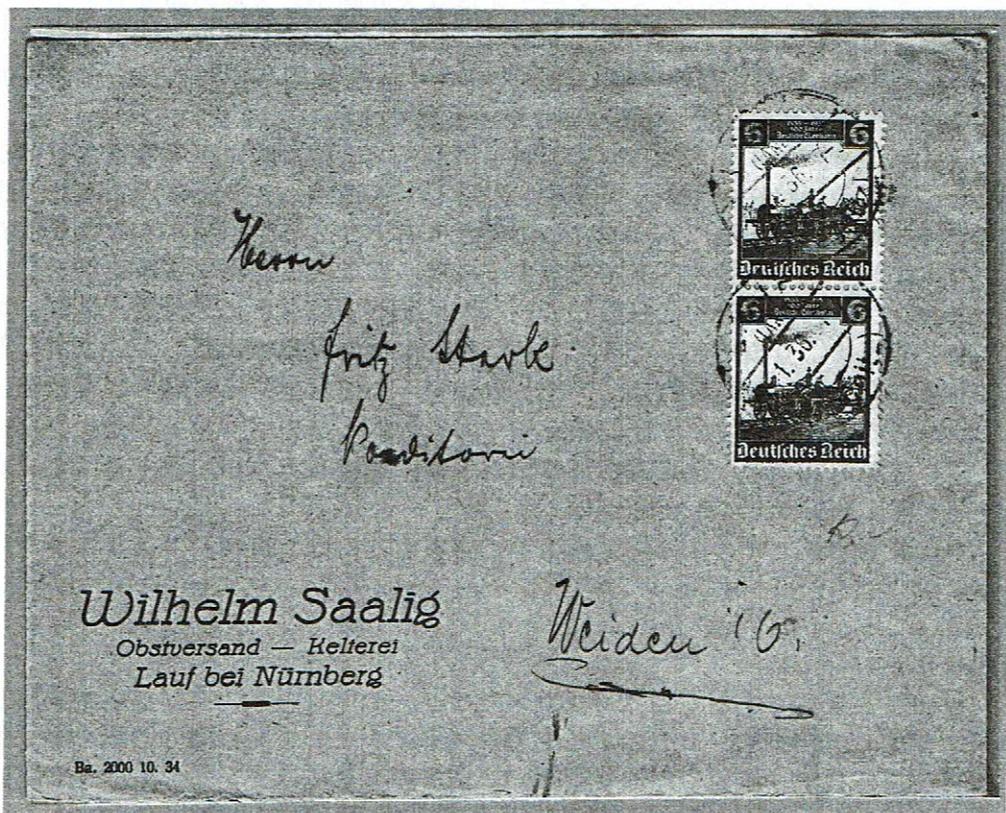
12pf
03形式SL (4-6-2形)
重量99t。急行列車を
最高時速 130kmで
牽引していた。



25pf
2両編成連節式T04形式
ディーゼル特急 Flying
Hamburger号。最高時
速 175km、座席定員は
102名だった。



40pf
ボルジッヒ社製05形式
(4-6-4形) 流線型SL。
動輪直径2.3mもあった。
ディーゼル化推進で製造
はわずか3両だった。



発行翌年である1836年に投函された、6pf縦ペア貼りの実通カバー



Chile

1948.12.6

Claudio Gay 「チリ博物誌」 出版100年記念

チリの博物学者Claudio Gayの著書「チリ博物誌」の出版100年を記念して1948年に25種の動植物を描く連刷シートが色違い3額面で発行され、合計75種のロングセットとなった。以下は、この中に選ばれている昆虫3図案9種である。刷色は60¢は青、2.60\$は緑、3\$は赤で印刷されている。

(¢=センターポ、\$=チリペソ 1\$=100¢)



カストニアガの一種
Castnia eudesia
(カストニアガ科)



カストニアガは、中南米に生息するやや大型の蛾であり、昼行性のため蝶と間違えやすい。前翅は保護色としてくすんだ色彩だが、後翅は捕食者への警戒色として鮮やかな色彩をしている。静止時は地味だが、はばたく時に目立つ蛾である。



グラントチリクワガタ
Chiasognathus granti
(クワガタムシ科)



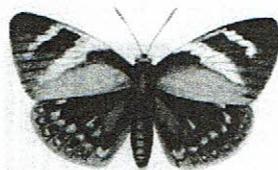
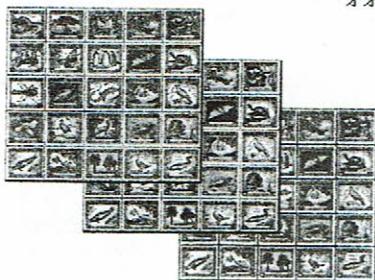
南アメリカ最大のクワガタムシ。最大の特徴はオスの大アゴで、体長の半分以上の長さになる。その大アゴは見かけに反し、挟む力は極めて弱いのだが、気が荒くて非常に好戦的。



オオカマキリの一種
Coptopteryx gayi
(カマキリ科)



切手には学名として *Mantis gayi* と記されているが、現在の分類では *Coptopteryx* 属に移されている。最後の *gayi* は博物誌の著者 Claudio Gay に因んだものである。因みに日本に生息するオオカマキリの学名は *Tenodera aridifolia* である。



カストニア蛾の前・後翅の説明が、切手が単色刷のため、わかりにくいと思われる。参考のため写真を示す。

25種連刷ブロックを4組、100面で1シートという大きな構成になっている。

刷色違いは用途別3額面の識別のため。

(青: 60¢ = 国内書状用、緑: 2.60\$ = 書状書留用、赤: 3\$ = 国内・近隣国航空書状用)

Angola 動物シリーズ

1953, Aug. 15



5c Leopard



40c African crocodile



10c Sable Antelope



20c Elephant



30c Eland



50c Impala



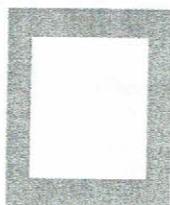
1a Mountain Zebra



2a Black rhinoceros



1.50a Shitatunga



2.30a Gemsbok



3a Buffalo



2.50a Lion



3.50a Springbok



4a Brindled gnu



5a Hartebeest



7a Wart hog



10a Deffasa waterbuck



12.50a Hippopotamus



15a Greater kudu



20a Giraffe

Italia

システイーナ礼拝堂天井画シリーズ

1961

バチカン宮殿システイーナ礼拝堂の天井画としてミケランジェロによって描かれた世界最大の壁画の中の多数の人物から預言者や巫女など16人の頭部のほか200Lにはミケランジェロによる自画像が、大型で高額面の2枚500Lと1000Lにはアダムとイブが描かれた19種のシリーズ。



自画像



アダム



イブ